

# わが国における高度実践看護師の グランドデザイン

日時：  
平成24年12月1日(土)  
16時40分～18時40分

場所：  
東京国際フォーラム  
ガラス棟会議室G409

## 【司会】

田中美恵子 (日本看護系学会協議会副会長、東京女子医科大学教授)

高田 早苗 (日本看護系学会協議会副会長、日本赤十字看護大学学長)

## 【シンポジスト】

内布 敦子 (日本学術会議連携会員、兵庫県立大学看護学部教授)

「日本看護系学会協議会・高度実践看護師のあり方検討会委員の立場から」

別府 千恵 (北里大学病院副院長・看護部長)

「高度実践看護師を数多く現場に持つ看護部長の立場から」

クローズ幸子 (亀田医療大学学長、日本看護系大学協議会・

高度実践看護師制度推進委員会委員)

「海外においてNPを取得している立場から」

小松 浩子 (日本学術会議連携会員、慶應義塾大学看護医療学部教授)

「日本学術会議連携会員の立場から」

厚生労働省では看護師の特定行為の認定制度が検討されています。一方で、わが国には専門看護師、認定看護師の資格認定制度もあります。混沌とした今だからこそ、高度実践看護師のあり方について、看護系学会および看護系団体は高度実践看護師のグランドデザインを描いて共有し、具体的な制度やカリキュラムを推進していく必要があると考えます。本シンポジウムでは、そのための機会を提供します。